COSMOS

連動無線ユニット

マイコンメータ用親子セット　型式名 CMS-03
マイコンメータ用親機　型式名 CM-301
LPガス警報器用子機　型式名 CM-401

取付説明書【施工される方へ】

お客様にこの連動無線ユニットを安全に正しくご使用いただくために、この取付説明書をよくお読みいただき、指定された工事を行ってください。

型式名	商品名	設置対象機器
CM-301	連動無線ユニット マイコンメータ用親機	S型保安ガスメータ/マイコンメータⅡ/都市ガスメータ
CM-401	連動無線ユニット LPガス警報器用子機	接点型LPガス警報器

《メモ》
SBメータ等、他のメータとの接続についてはお問い合わせください。

付属の電池は保障対象外です。本機は強い電界・磁気を発生する機器や電波を利用した機器の近くに設置すると、電池の消耗が早くすすんでしまう恐れがあります。

目　次

1.お願いとご注意
2.無線ユニットの機能について
3.取り付け前の確認
4.運用タイプとスイッチ設定
5.起動する
6.チャンネル設定
7.連動登録
8.設置と点検
9.マイコンメータ、警報器に接続する
10.警報器の連動点検
11.お客様への説明について
12.機器異常の確認と故障・修理について

TT0157C3-A

1.お願いとご注意

- **無線ユニットの取り付けは、この取付説明書に従って、指定された工事を行ってください。**
- **工事終了後に、必ず作動点検を行ってください。**
  万一、作動不良があったときは交換してください。
- **工事終了後に、「無線ユニットの説明」「お客様への周知事項」について、必ずお客様に説明してください。**

⚠注意

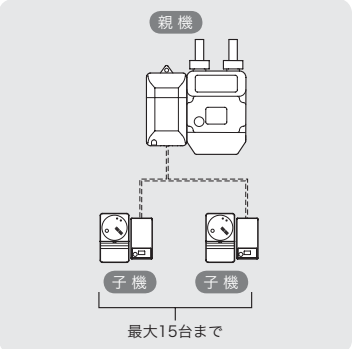
無線ユニットには、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。
故障の原因となります。

分解や改造はしないでください。
発火・故障の原因となります。

2.無線ユニットの機能について

この無線ユニットは、ガス警報信号が発信されるとLPガス警報器とマイコンメータ間を無線通信し、マイコンメータの弁を自動的に遮断させるための装置です。ガスの遮断情報は**子機**に無線で送信され、**子機**はLPガス警報器に遮断信号を出力し、LPガス警報器はマイコンメータの遮断状態を音声（ブザー）でお知らせします。また、遮断状態のマイコンメータを**子機**からの遠隔操作で復旧させることもできます。
無線通信を行うためには、事前に**親機ー子機**を関連づける登録を行う必要があります。（→「7.連動登録」をご参照ください。）
親機に対して**子機**は最大15台まで登録できます。
また、別売りの連動無線ユニットと組み合わせれば、火災警報信号または不完全燃焼警報信号によってガスメータを遮断することができます。連動無線ユニット都市ガス警報器用親機［別売品］（CM-101）や火災警報器用連動無線ユニット［別売品］（CM-102）に付属の取扱説明書もご参照ください。

連動無線システム



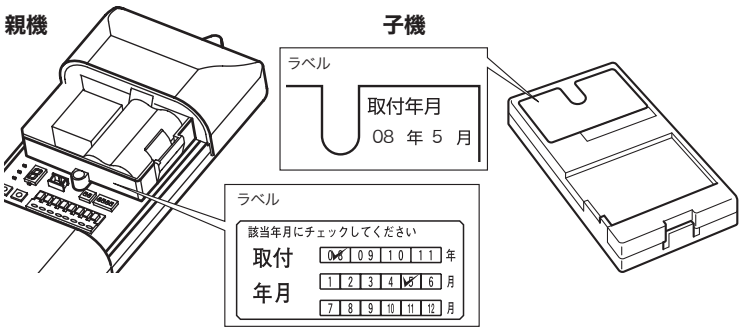
《お断わり》
●この無線ユニットは、他社の無線機器と組み合わせて使用することはできません。

3.取り付け前の確認

3-1.設置する前に

①ラベル
取付年月をチェック、記入してください。

②保証書（取扱説明書内）
「お取付日」「製造番号（親機・子機）」「（実施者）販売店」欄を記入してください。



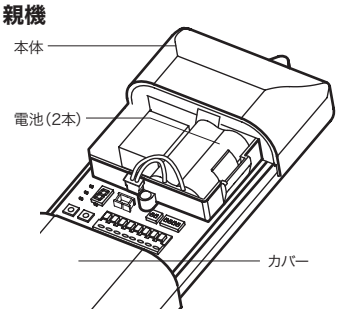
（例：2008年5月に取り付けた場合）

3-2.梱包部品の確認

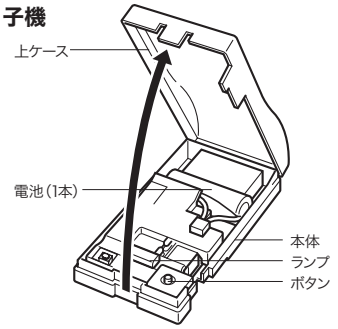
梱包部品の種類と個数を確認してください。

梱包部品	親子セット (CMS-03)	親機 (CM-301)	子機 (CM-401)
親機（本体・電池2本入り）	1	1	
子機（本体・電池1本入り）	1		1
接続ケーブル	1		1
取付板	1		1
機番シール	1		
説明プレート	1		
木ネジ（25mm）	2	2	
木ネジ（16mm）	2		2
ピン	5		5
取扱説明書（保証書付）	1	1	1
取付説明書（本書）	1	1	
かんたん設置ガイド	1	1	1

親機

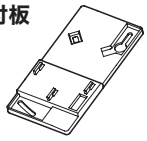


子機



接続ケーブル

取付板



木ネジ

ピン

3-3.取付位置の確認

設置場所の選定については、警報器に付属の取扱説明書に従ってください。

無線ユニットの通信距離は、見通し100m程度です。
※ただし、以下のような設置場所では、通信距離が短くなる場合があります。
- ●テレビやラジオが60cm以内にある場所。
- ●アマチュア無線・パーソナル無線・CB無線などの無線機器のアンテナが4m以内にある場所。
- ●コードレス電話が60cm以内にある場所。

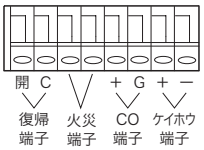
⚠注意

強い電界・磁気を発生する機器や電波を利用した機器から離して設置してください。
電波の到達に影響が出たり、誤動作の原因となります。また、電池の消耗が早く進んでしまう恐れがあります。

金属製の遮へい物を近くに設置しないでください。
電波の到達に影響が出たり、誤動作の原因となります。

4.運用タイプとスイッチ設定

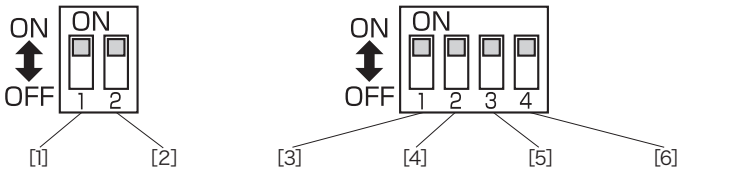
ご使用中のガスの種類や無線ユニットと他の機器との組み合わせによって、設定や無線ユニットの動きが異なります。各作業は、運用タイプの内容を参照して進めてください。



都市ガスの場合は、**親機**のCO端子とマイコンメータの外部1端子を接続してください。火災警報・CO警報・ガス警報によってガスが遮断します。

LPガスの場合は、ガスを遮断させる警報の種類によって接続する端子が異なります。
ガス警報の場合は、**親機**のケイホウ端子とマイコンメータのケイホウ端子を接続してください。
火災警報の場合は火災端子と、CO警報の場合はCO端子と、それぞれマイコンメータの外部1端子と接続してください。
接続方法については、「9-1.親機（CM-301）の接続」をご参照ください。

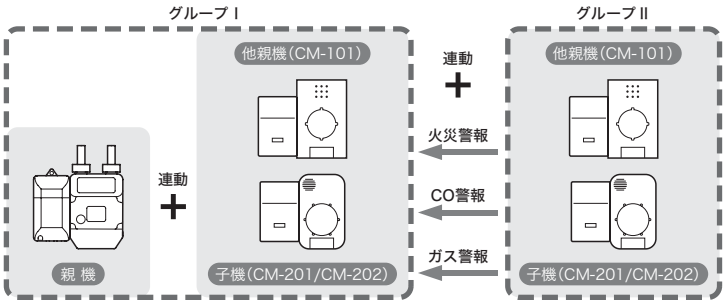
都市ガスの場合



ご購入時には、スイッチは全てONの設定になっています。

■運用タイプ①

2グループ構成の他親機（CM-101）に**親機**を単独で取り付ける場合です。〔**親機**は他親機（CM-101）の子機として登録されます。〕



〈スイッチ設定〉

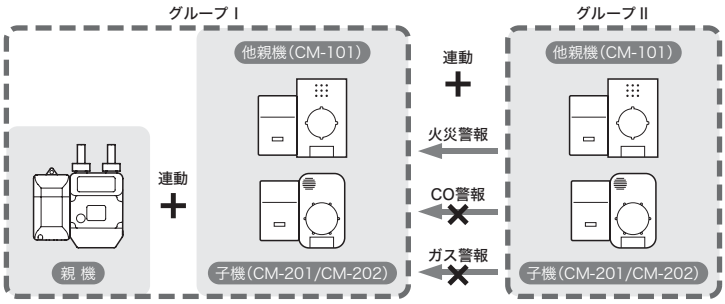
[1]選定SW	[2]親子切替SW	[3]一括SW2	[4]一括SW1	[5]未接続SW	[6]メータ切替SW
ON	ON	ON	ON	ON	ON

ご購入時には、スイッチは全てONの設定になっています。

■運用タイプ②

1グループ構成の他親機（CM-101）または、2グループ構成の他親機（CM-101）の1台に**親機**を単独で取り付ける場合です。グループⅡで検知されたガス警報やCO警報と**親機**は連動しません。（火災警報とは、連動します。）

〔**親機**は他親機（CM-101）の子機として動きます。〕

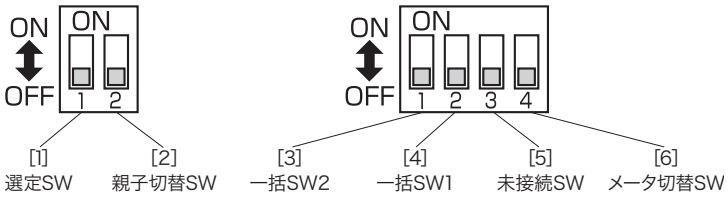


〈スイッチ設定〉

[1]選定SW	[2]親子切替SW	[3]一括SW2	[4]一括SW1	[5]未接続SW	[6]メータ切替SW
OFF	ON	ON	ON	ON	ON

ご購入時には、スイッチは全てONの設定になっています。
[1]選定SWをOFFに切り替えてください。

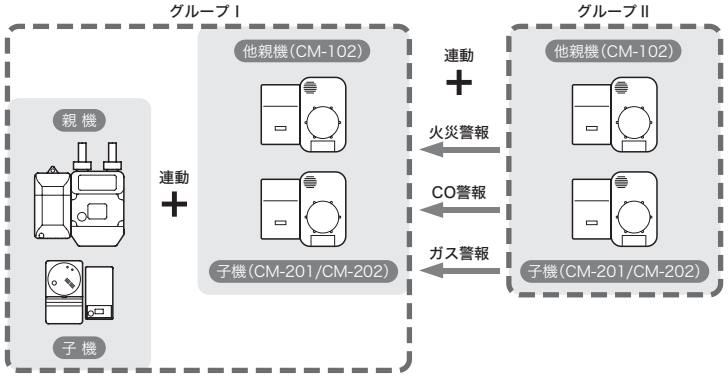
LPガスの場合



ご購入時には、スイッチは全てOFFの設定になっています。
[5]未接続SW、[6]メータ切替SWについては、「マイコンメータとスイッチ設定」をご覧ください。

■運用タイプ③

2グループ構成の他親機（CM-102）に**親機**と**子機**で取り付ける場合です。〔**親機**は他親機（CM-102）の子機として動きます。〕
※**親機**は単独でも取り付けできます。



〈スイッチ設定〉

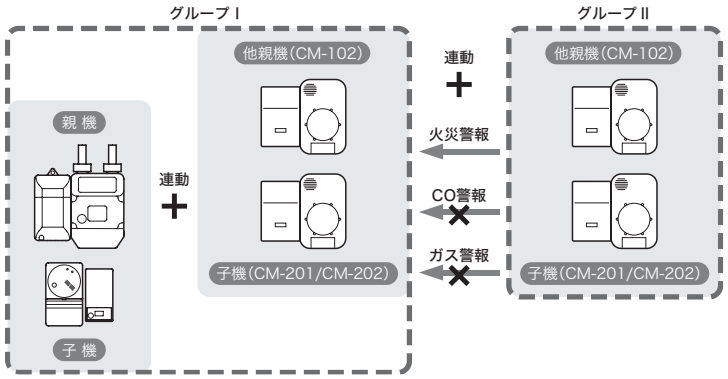
[1]選定SW	[2]親子切替SW	[3]一括SW2	[4]一括SW1	[5]未接続SW	[6]メータ切替SW
ON	ON	OFF	OFF	「マイコンメータとスイッチ設定」参照	

ご購入時には、スイッチは全てOFFの設定になっています。
[1]選定SW、[2]親子切替SWをONに切り替えてください。
[5]未接続SW、[6]メータ切替SWについては、「マイコンメータとスイッチ設定」をご覧ください。
※運用タイプ⑤から運用タイプ③に変更した場合は、**子機**の登録情報が削除されます。他親機（CM-102）、**子機**の再登録作業を行ってください。（→「7-1.他親機（CM-101またはCM-102）ー親機（CM-301）の登録」「7-2.親機（CM-301）ー子機（CM-401）の再登録」をご参照ください。）

■運用タイプ④

1グループ構成の他親機（CM-102）、または2グループ構成の他親機（CM-102）の1台に**親機**と**子機**で取り付ける場合です。グループⅡで検知されたガス警報やCO警報と**親機**は連動しません。（火災警報とは、連動します。）

〔**親機**は他親機（CM-102）の子機として動きます。〕
※**親機**は単独でも取り付けできます。



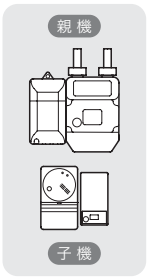
〈スイッチ設定〉

[1]選定SW	[2]親子切替SW	[3]一括SW2	[4]一括SW1	[5]未接続SW	[6]メータ切替SW
OFF	ON	OFF	OFF	「マイコンメータとスイッチ設定」参照	

ご購入時には、スイッチは全てOFFの設定になっています。
[2]親子切替SWをONに切り替えてください。
[5]未接続SW、[6]メータ切替SWについては、「マイコンメータとスイッチ設定」をご覧ください。
※運用タイプ⑤から運用タイプ④に変更した場合は、**子機**の登録情報が削除されます。他親機（CM-102）、**子機**の再登録作業を行ってください。（→「7-1.他親機（CM-101またはCM-102）ー親機（CM-301）の登録」「7-2.親機（CM-301）ー子機（CM-401）の再登録」をご参照ください。）

■運用タイプ⑤

親機と**子機**を取り付ける場合です。



〈スイッチ設定〉

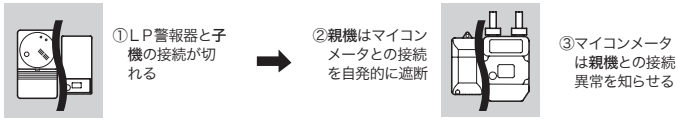
[1]選定SW	[2]親子切替SW	[3]一括SW2	[4]一括SW1	[5]未接続SW	[6]メータ切替SW
OFF	OFF	OFF	OFF	「マイコンメータとスイッチ設定」参照	

[5]未接続SW、[6]メータ切替SWについては、「マイコンメータとスイッチ設定」をご覧ください。

※運用タイプ③、④から運用タイプ⑤に変更した場合は、他親機（CM-102）、**子機**の登録情報が削除されます。**子機**の再登録作業を行ってください。（→「7-2.親機（CM-301）－子機（CM-401）の再登録」をご参照ください。）

マイコンメータとスイッチ設定

接続するマイコンメータの種類によってスイッチ設定が異なります。
子機を登録して使用する場合は、接続異常機能が設定できます。
子機とＬＰガス警報器との間で接続異常が発生し、**親機**が**子機**の接続異常を検知すると、**親機**はマイコンメータとの接続を自発的に遮断し、マイコンメータは**親機**との接続異常をお知らせします。



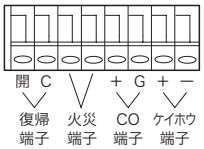
設置マイコンメータ	接続異常機能	スイッチ設定	
		[5]未接続SW	[6]メータ切替SW
S型ガスメータ	○	OFF	OFF
	―	ON ※1	
S型ガスメータ以外	○	OFF	ON
	―	ON ※2	

※1　検知エラー機能モードになります。このモードの場合、登録されている機器のエラー状態（電池切れ、接続異常、通信異常）を**親機**が検知した場合、CO端子から警報を出力します。（検知エラー機能モードが作動中の場合、火災警報・CO警報・ガス警報状態になってもCO端子に接続中の機器は作動しませんのでご注意ください。）

※2　運用タイプ①、②（都市ガスの場合）の設定になります。運用タイプ③～⑤（LPガスの場合）では設定しないでください。

〈参考機能（LPガス専用）〉

火災端子／ CO端子から複数の警報信号を出力する場合のスイッチ設定になります。接続する外部機器の目的に合わせて、スイッチ設定を行ってください。（通常、行う必要はありません。）



火災端子			CO端子			スイッチ設定	
火災警報信号	CO警報信号	ガス警報信号	火災警報信号	CO警報信号	ガス警報信号	[3]一括 SW2	[4]一括 SW1
○	―	―	―	○	―	OFF	OFF
○	―	―	○	○	○	ON	
○	○	○	―	○	―	OFF	ON
○	○	○	○	○	○	ON	

※都市ガスの場合、[3]一括SW2、[4]一括SW1がONでないと目的の動作をしない場合があります。

5.起動する

無線ユニットは、電池コネクタを接続すると起動します。（電池投入）起動後は運用タイプによって各種設定手順が異なります。
運用タイプ別に必要な作業手順と参照項目を下記に記載しています。
各作業は、参照項目の内容にそって進めてください。

⚠注 意

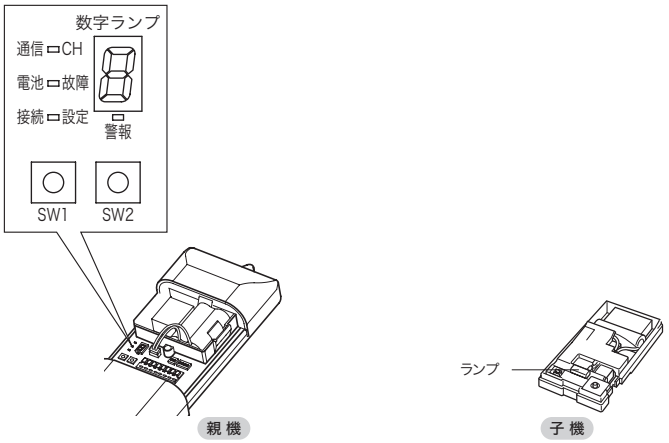
電源投入前に運用タイプにあったスイッチ設定がされているか確認してください。
間違ったスイッチ設定で電池コネクタを接続すると目的外の機能で起動しますので、ご注意ください。

■親機（CM-301）の場合

運用タイプ	他親機（CM-101または CM-102）の登録	参照項目
①～④	登録済み	6-1.運用タイプ①～④でチャンネル設定する場合
	未登録	7-1.他親機（CM-101またはCM-102）－親機（CM-301）の登録
⑤	―	6-2.運用タイプ⑤でチャンネル設定する場合

■子機（CM-401）の場合

親機（CM-301）の登録	親機（CM-301）の運用タイプ	参照項目
登録済み	③または④	6-1.運用タイプ①～④でチャンネル設定する場合
	⑤	6-2.運用タイプ⑤でチャンネル設定する場合
	運用タイプの変更	下記、参照
未登録	―	7-3.親機（CM-301）－子機（CM-401）の登録（追加子機）

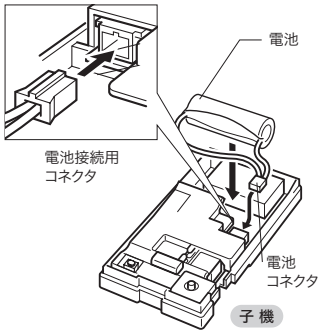


CH：CHランプはチャンネル設定モードなどで点灯表示します。
設定：設定ランプは登録モード、通信テストモードなどで点灯表示します。

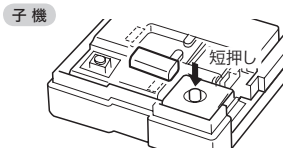
〈親機（CM-301）の運用タイプを変更した場合の子機（CM-401）の設定〉

親機の運用タイプを変更すると**子機**の登録情報が削除されます。**子機**は**親機**との再登録作業が必要になります。ただし、**子機**は電源投入するとチャンネル設定モードで起動しますので、チャンネル設定モードを解除して登録作業に入る必要があります。

①電池コネクタを接続する。（電源投入）
ランプが点滅します。チャンネル設定モードに入ります。



②ボタンを短押しします。チャンネル設定モードを終了します。



③「7-2.親機（CM-301）－子機（CM-401）の再登録」を参照して、再登録作業を行います。

6.チャンネルの設定

無線ユニットを取り付ける場所の周囲の電波（チャンネル使用）状況を確認し、必要に応じてチャンネルを設定してください。チャンネル設定は、**親機**の電池コネクタを接続すると開始します。

⚠注 意

必ず周囲のチャンネル使用状況を確認してください。
周囲と同じチャンネルを使用すると、通信に障害が起こったり、相互の電波の影響により、電池の消耗が早く進んでしまう恐れがあります。
近隣住宅に無線システムが使用されている場合は、そのシステムとは異なるチャンネルを使用するようにしてください。

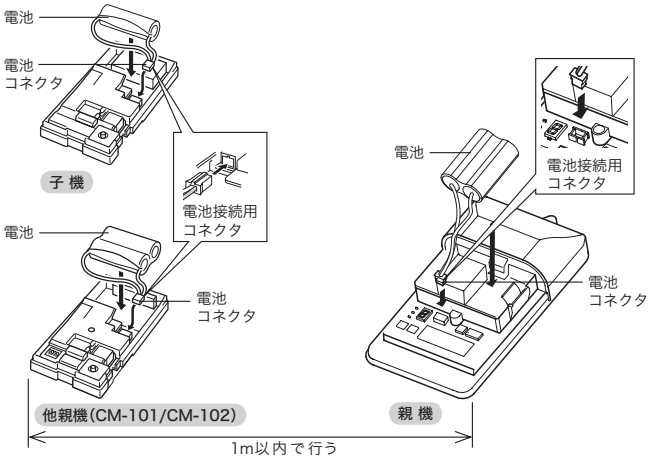
6-1.運用タイプ①～④でチャンネル設定する場合

⚠注意

すでに設置されている場合は、無線ユニットを壁面から取り外し、テーブルなどの上に置いて作業を行ってください。

①他親機（CM-101またはCM-102）と親機を1m以内に近づけて、他親機（CM-101またはCM-102）の電池コネクタを接続します。
※子機（CM-201またはCM-202）が登録されている場合は、子機（CM-201またはCM-202）も他親機（CM-101またはCM-102）に近づけます。

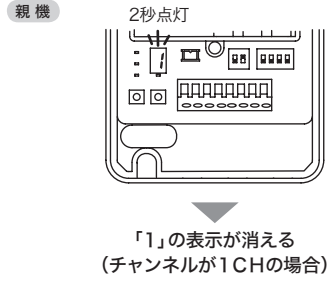
②他親機（CM-101またはCM-102）の使用チャンネルが決まってから、親機の電池コネクタを接続します。
※子機（CM-201またはCM-202）が登録されている場合は、子機（CM-201またはCM-202）の電池コネクタも接続します。



電源投入後の他親機（CM-101またはCM-102）と子機（CM-201またはCM-202）の動作については、各無線ユニットの取扱説明書をご参照ください。

親機（CM-301）を単独でご使用の場合

③数字ランプが2秒間点灯後、消灯したら設定完了です。



「1」の表示が消える
（チャンネルが1CHの場合）

子機（CM-401）を登録してご使用の場合

③親機の数字ランプが2回ごとの点滅に変わったことを確認したら、親機と子機を1m以内に近づけて、子機の電池コネクタを接続します。

ランプの表示（2秒ごとに繰り返す）	
点滅	消灯
2回	1秒程度

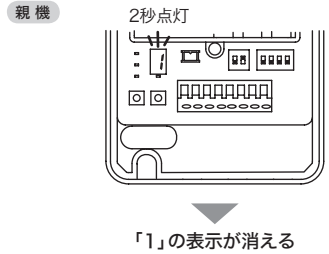
自動で通信

※親機の数字ランプが2回ごとの点滅になってからも他親機（CM-101またはCM-102）のランプ点滅が続いている場合は、他親機（CM-101またはCM-102）のランプ点滅が終了してから子機の電池コネクタを接続してください。

④数字ランプが2秒間点灯後、消灯したら設定完了です。

■数字ランプの2回ごとの点滅が続くとき

親機の数字ランプが2回ごとの点滅になってから子機の電池コネクタを接続し、20秒ほど経過してもランプの点滅が続く場合は、子機との通信ができていません。
子機の電池コネクタを確実に接続しているか確認してください。接続している場合は、いったん外して、接続し直してください。
接続が完了すると、子機は2回ごとの点滅を始めます。その後、親機ー子機が自動で通信を行い、ともにランプが2秒点灯した後、消灯します。
ランプが消灯したら作業終了です。



「1」の表示が消える
（チャンネルが1CHの場合）

《おねがい》
必ず他親機（CM-101またはCM-102）→親機［子機（CM-201またはCM-202）］→子機の順で電池コネクタを接続してください。

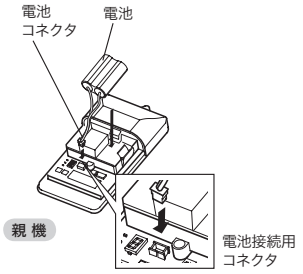
6-2.運用タイプ⑤でチャンネル設定する場合

⚠注意

すでに設置されている場合は、無線ユニットを壁面から取り外し、テーブルなどの上に置いて作業を行ってください。

①親機の電池コネクタを接続します。

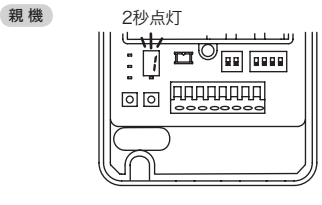
《おねがい》
必ず親機から電池コネクタを接続し、親機のチャンネルを確認した上で、子機の電池コネクタを接続してください。



子機（CM-401）が登録されていない場合

②数字ランプが2秒間点灯後、消灯したら設定完了です。

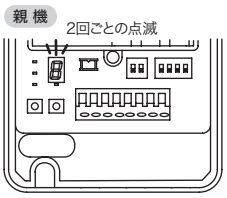
■数字ランプが消灯しないとき
電池コネクタを接続してから30秒ほど経過しても、数字ランプが消灯しないときは、チャンネルが決まっていません。
Ⅰ．**親機の「SW1」ボタンを短押しします。次の候補チャンネルの状態確認を開始します。**
Ⅱ．**「SW1」ボタンを短押ししてから、30秒ほど経過しても数字ランプが消灯しない場合は、Ⅰに戻ってください。**



「1」の表示が消える
（チャンネルが1CHの場合）

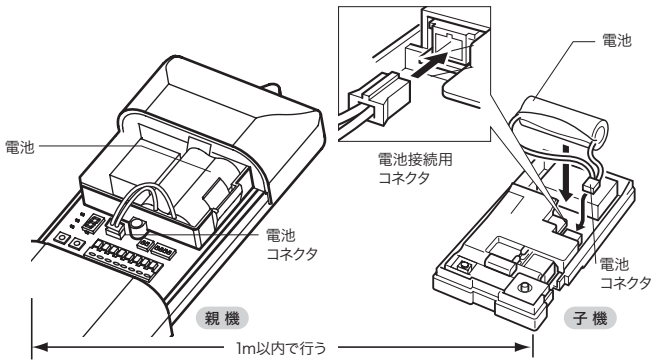
子機（CM-401）が登録されている場合

②親機の数字ランプが2回ごとの点滅に変わったことを確認したら、子機と親機を1m以内に近づけて、子機の電池コネクタを接続します。



ランプの表示（2秒ごとに繰り返す）	
点滅	消灯
2回	1秒程度

自動で通信



③数字ランプが2秒間点灯後、消灯したら設定完了です。
※親機の数字ランプが2回ごとの点滅に変わってからも、子機のランプ点滅が続いている場合は、子機の電池コネクタを接続し直してください。
（→6-1.運用タイプ①～④でチャンネル設定する場合」をご参照ください。）

■数字ランプが2回ごとの点滅に変わらないとき
電池コネクタを接続してから30秒ほど経過しても、数字ランプが2回ごとの点滅に変わらないときは、チャンネルが決まっていません。
Ⅰ．**親機の「SW1」ボタンを短押しします。次の候補チャンネルの状態確認を開始します。**
Ⅱ．**「SW1」ボタンを短押ししてから、30秒ほど経過しても数字ランプが2回ごとの点滅に変わらない場合は、Ⅰに戻ってください。**

7.連動登録

7-1.他親機（CM-101またはCM-102）ー親機（CM-301）の登録

⚠注 意

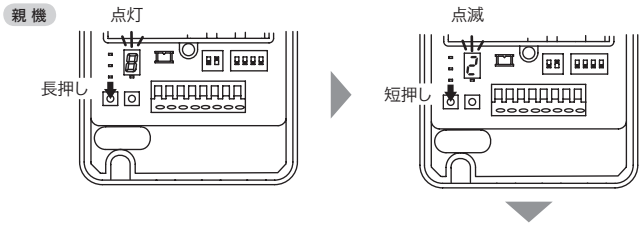
すでに設置されている場合は、無線ユニットを壁面から取り外し、テーブルなどの上に置いて作業を行ってください。

他親機（CM-101またはCM-102）に、親機は1台だけ登録できます。

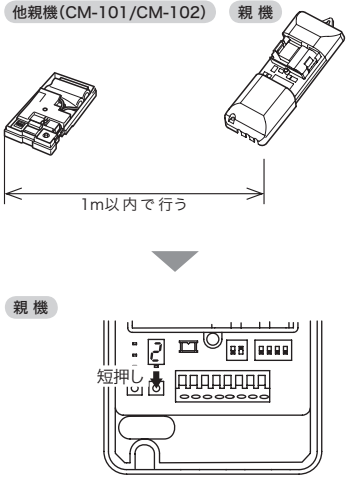
①他親機（CM-101またはCM-102）を登録モードに入れます。
※登録モードの入れ方については、他親機（CM-101またはCM-102）の取扱説明書をご参照ください。

各ボタン操作後、10分以内に次のボタン操作をしないと、元の状態（無表示）に戻る

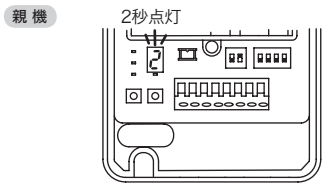
②親機の「SW1」ボタンを長押しし、数字を表示させます。
親機の「SW1」ボタンを短押しして「2」を表示させます。
親機登録モードに入ります。



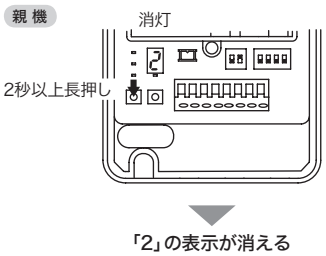
③登録する機器同士を1m以内に近づけて、「SW2」ボタンを短押ししてください。



④親機の「2」の表示が2秒点灯することを確認します。
〔他親機（CM-101またはCM-102）はランプが2秒点灯し、ブザー音「ピッ」と鳴動します。〕



⑤親機の「SW1」ボタンを2秒以上長押しします。
「2」の表示が消えると親機登録モード終了です。
他親機（CM-101またはCM-102）の登録モードを終了させます。
※登録モードの終了方法については、他親機（CM-101またはCM-102）の取扱説明書をご参照ください。



7-2.親機（CM-301）ー子機（CM-401）の再登録

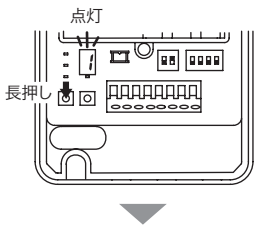
子機の登録操作をやり直す場合は、ボタンを4回短押ししてランプを消灯させてください。

⚠注 意

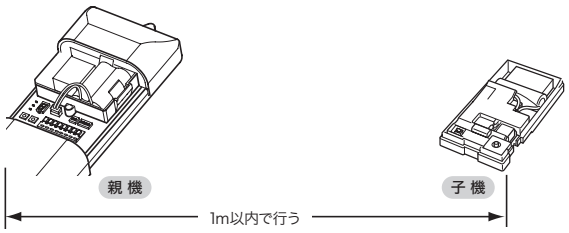
すでに設置されている場合は、無線ユニットを壁面から取り外し、テーブルなどの上に置いて作業を行ってください。

各ボタン操作後（※）、10分以内に次のボタン操作をしないと、元の状態（無表示）に戻る

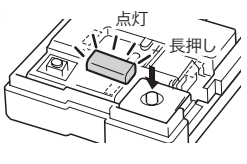
①親機の「SW1」ボタンを「1」が表示されるまで長押しします。子機登録モードに入ります。



②登録する機器同士を1m以内に近づけてください。



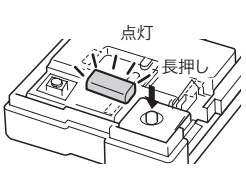
③子機のボタンをランプが点灯するまで長押しします。
（子機は親機へ登録信号を送信する準備に入ります。）



次のランプ表示に変わる

ランプの表示（10秒ごとに繰り返す）		
点滅	消灯	点滅
3回	1秒程度	2回

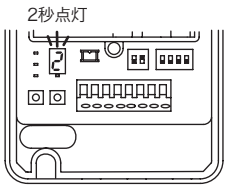
④子機のボタンをランプが点灯するまで長押しします。
（子機は親機へ登録信号を送信します。）

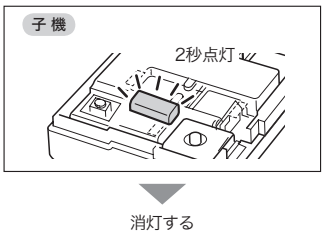


⑤登録が完了すると、親機は子機の登録番号を2秒間点灯表示します。子機はランプが2秒間点灯し、消灯します。

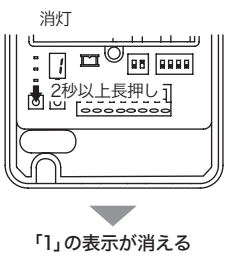
続けて子機を登録する場合は、②～⑤の操作を繰り返します。
（子機は15台まで登録可能です。）

※子機が複数台ある場合は、機番を控えることをおすすめします。
（→〈説明プレート／機番シールについて〉をご参照ください。）





⑥親機の「SW1」ボタンを2秒以上長押しします。
「1」の表示が消えると子機登録モード終了です。



（※）**親機**の場合は、ボタン操作後または**子機**の登録信号を受信後になります。

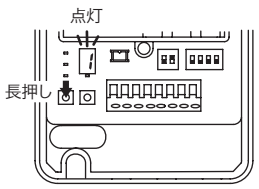
7-3.親機（CM-301）ー子機（CM-401）の登録（追加子機）

⚠注意

すでに設置されている場合は、無線ユニットを壁面から取り外し、テーブルなどの上に置いて作業を行ってください。

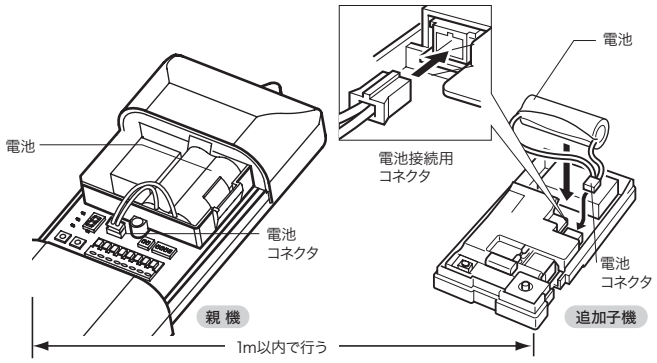
各ボタン操作後（※）、10分以内に次のボタン操作をしないと、元の状態（無表示）に戻る

①**親機**の「SW1」ボタンを「1」が表示されるまで長押しします。子機登録モードに入ります。



「1」が表示される

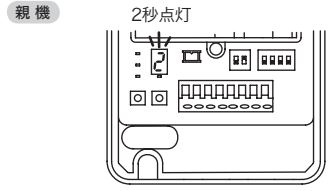
②登録する機器同士を1m以内に近づけて、電池コネクタを接続します。
（**子機**は**親機**へ登録信号を送信します。）



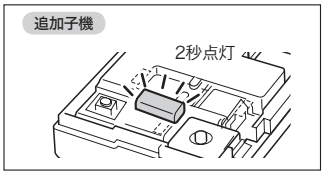
③登録が完了すると、**親機**は**子機**の登録番号を2秒間点灯表示します。**追加子機**はランプが2秒間点灯し、消灯します。

続けて**子機**を登録する場合は、②～③の操作を繰り返します。（子機は15台まで登録可能です。）

※**子機**が複数台ある場合は、機番を控えることをおすすめします。（→〈説明プレート／機番シールについて〉をご参照ください。）

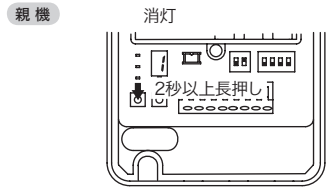


追加子機の登録番号が表示される（**子機**が2番に登録された場合）



消灯する

④すべての**子機**を登録したら**親機**の「SW1」ボタンを2秒以上長押しします。「1」の表示が消えると子機登録モード終了です。



「1」の表示が消える

（※）**親機**の場合は、ボタン操作後または**子機**の登録信号を受信後になります。

7-4.他親機（CM-101またはCM-102）ー親機（CM-301）の登録解除

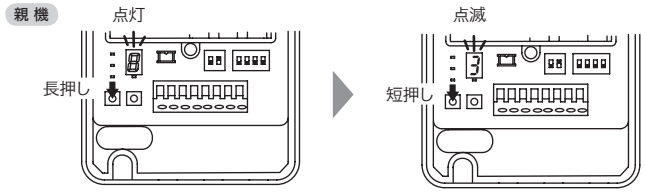
⚠注意

すでに設置されている場合は、無線ユニットを壁面から取り外し、テーブルなどの上に置いて作業を行ってください。

①他親機（CM-101またはCM-102）を登録モードに入れます。
※登録モードの入れ方については、他親機（CM-101またはCM-102）の取扱説明書をご参照ください。

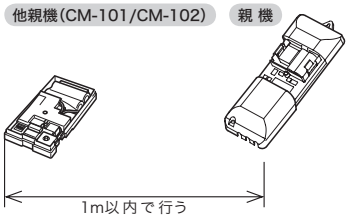
各ボタン操作後、10分以内に次のボタン操作をしないと、元の状態（無表示）に戻る

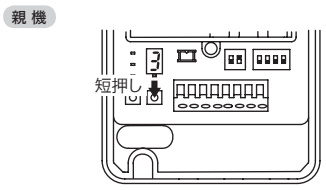
②**親機**の「SW1」ボタンを長押しし、数字を表示させます。
親機の「SW1」ボタンを短押しして「3」を表示させます。
親機登録解除モードに入ります。



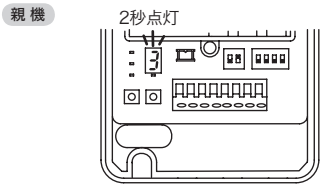
「3」が表示される

③登録解除したい機器同士を1m以内に近づけて、「SW2」ボタンを短押しします。
（**親機**は登録解除信号を送信します。）

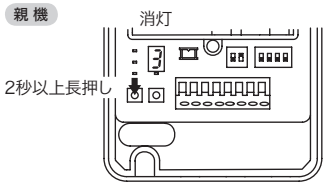




④**親機**の「3」の表示が2秒点灯することを確認します。
（他親機（CM-101またはCM-102）はランプが2秒点灯し、ブザー音「ピッ」と鳴動します。）



⑤**親機**の「SW1」ボタンを2秒以上長押しします。
「3」の表示が消えると親機登録解除モード終了です。
他親機（CM-101またはCM-102）の登録モードを終了させます。
※登録モードの終了方法については、他親機（CM-101またはCM-102）の取扱説明書をご参照ください。



「3」の表示が消える

⚠注意

他親機（CM-102）から**親機**を登録解除した後、もう一度、**親機**を登録する場合は、他親機（CM-102）に登録してある機器を全て解除し、再登録する必要があります。

7-5.親機（CM-301）ー子機（CM-401）の登録解除

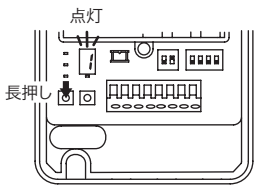
子機の登録解除操作をやり直す場合は、ボタンを4回短押ししてランプを消灯させてください。

⚠注意

すでに設置されている場合は、無線ユニットを壁面から取り外し、テーブルなどの上に置いて作業を行ってください。

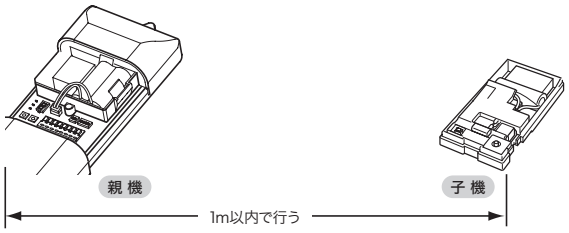
各ボタン操作後(※)、10分以内に次のボタン操作をしないと、元の状態（無表示）に戻る

①**親機**の「SW1」ボタンを「1」が表示されるまで長押しします。子機登録モードに入ります。

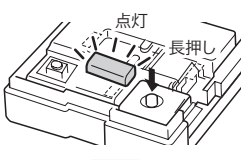


「1」が表示される

②登録解除したい機器同士を1m以内に近づけてください。



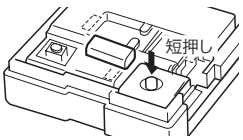
③**子機**のボタンをランプが点灯するまで長押しします。
（**子機**は**親機**へ登録信号を送信する準備に入ります。）



次のランプ表示に変わる

ランプの表示（10秒ごとに繰り返す）		
点滅	消灯	点滅
3回	1秒程度	2回

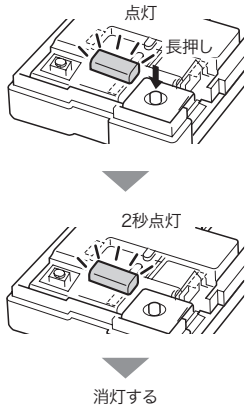
④**子機**のボタンを短押しします。
（**子機**は**親機**へ登録解除信号を送信する準備に入ります。）



次のランプ表示に変わる

ランプの表示（10秒ごとに繰り返す）		
点滅	消灯	点滅
3回	1秒程度	3回

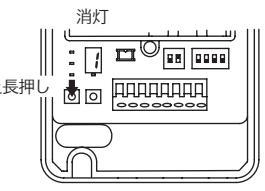
⑤**子機**のボタンをランプが点灯するまで長押しします。
（**子機**は**親機**へ登録解除信号を送信します。）
登録解除が完了すると解除した**子機**のランプが2秒間点灯し、消灯します。



消灯する

⑥複数の**子機**を登録解除したい場合は、②〜⑥の操作を繰り返します。

⑦**親機**の「SW1」ボタンを2秒以上長押しします。
「1」の表示が消えると子機登録解除モード終了です。



「1」の表示が消える

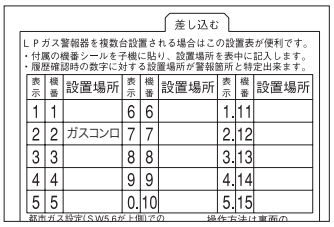
（※）**親機**の場合は、ボタン操作後または**子機**の登録解除信号を受信後になります。

〈説明プレート／機番シールについて〉

子機を複数台設置する場合は、**子機**の登録番号（機番）を控えておくことをおすすめします。その際、付属の説明プレートと機番シールを使用すると便利です。（説明プレートと機番シールは親子セット（CMS-03）にのみ付属し、**親機**には付属しません。）
登録番号は子機登録時に**親機**が表示します。（→「7-2.親機（CM-301）ー子機（CM-401）の登録」「7-3.親機（CM-301）ー子機（CM-401）の登録（追加子機）」をご参照ください。）
子機の登録番号が二桁の場合は、数字の後に「.（ピリオド）」が付きます。登録番号が10番〜15番の場合は、数字ランプの表示は「0.」〜「5.」となります。

【説明プレート】

子機の登録番号にあわせて、**子機**の設置場所を記入します。ご記入後、説明プレート裏面に記載されている方法で本体へ取り付けてください。


差し込む

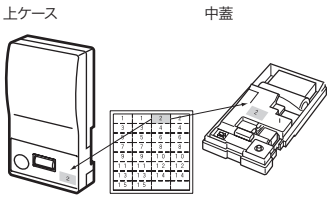
ＬＰガス警報器を複数台設置される場合はこの設置表が便利です。
・付属の機番シールを子機に貼り、設置場所を表中に記入します。
・履歴確認時の数字に対する設置場所が警報箇所と特定出来ます。

表示	機番	設置場所	表示	機番	設置場所	表示	機番	設置場所
1	1		6	6		1.	11	
2	2	ガスコンロ	7	7		2.	12	
3	3		8	8		3.	13	
4	4		9	9		4.	14	
5	5		0.	10		5.	15	

都市ガス設定(SW5-6が上側)の　　操作方法は裏面の

【機番シール】

機番シールから該当の登録番号をはがし、**子機**に貼ります。
（機番シールは各番号を2枚づつ用意していますので、上ケースと中蓋に貼ると確実です。）



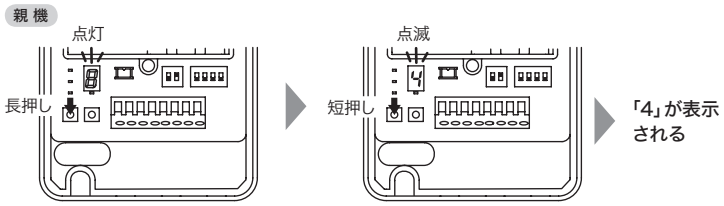
（図は**子機**が2番に登録された場合）

8.設置と点検

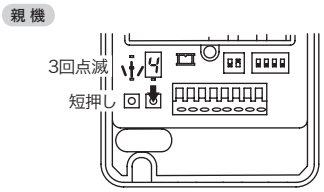
8-1.他親機（CM-101またはCM-102）ー親機（CM-301）の通信感度確認と設置

①**親機**を設置予定の場所に仮設置します。
※**子機**が登録されている場合は、**親機**と無線通信できる場所に**子機**を置いてください。
電池が抜かれていたり、**親機**と極端に離れていたりすると、通信感度確認結果表示までに時間がかかります。

②**親機**の「SW1」ボタンを数字ランプが点灯するまで長押しします。
親機の「SW1」ボタンを短押しして、「4」を表示させます。通信テストモードに入ります。



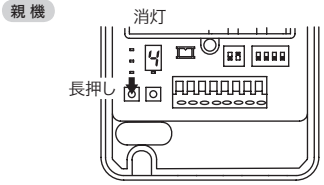
③**親機**の「SW2」ボタンを短押しし、設定ランプが3回点滅することを確認します。
※設定ランプが2回点滅した場合も通信可能ですが、少し通信感度が劣ります。3回点滅する位置を探して再設置してください。



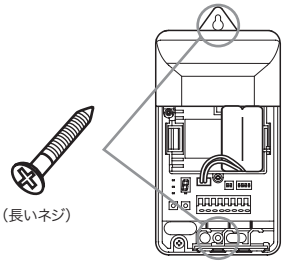
【2分ほど経過しても設定ランプ表示されない場合】

他親機（CM-101またはCM-102）と無線通信できていない状態です。
通信テストが成功しない状態で約9分が経過すると、設定ランプが1回点滅します。1回点滅した場所では通信できていませんので、設置できません。
親機の位置を調整してください。

④**親機**の「SW1」ボタンを2秒以上長押します。「4」の表示が消えると通信感度確認モード終了です。

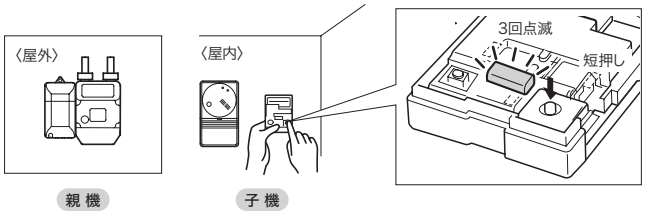


⑤**親機**を壁面に設置します。
※お手持ちの取付具を使用して設置することも可能です。



8-2.親機（CM-301）ー子機（CM-401）の通信感度確認と設置

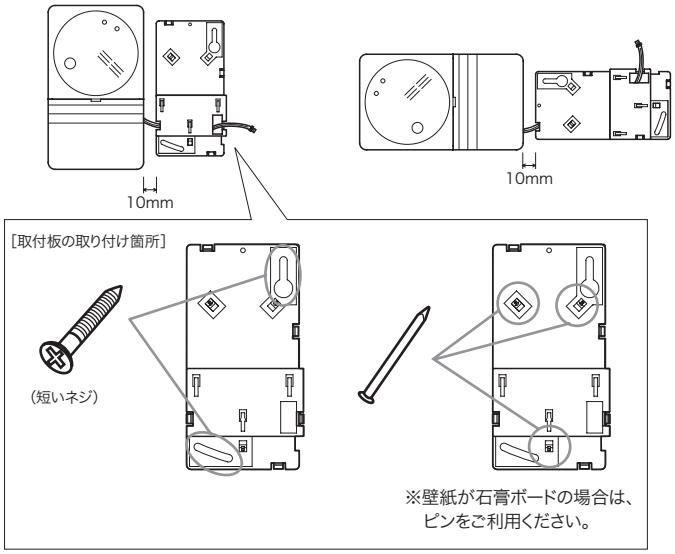
①LPガス警報器の側で、**子機**のボタンを短押しして、ランプが3回点滅する位置を探してください。
※ランプが2回点滅した場所にも設置可能ですが、少し通信感度が劣ります。3回点滅する位置を探して再設置してください。1回点滅した場所では通信できていませんので、設置できません。



②通信できた位置の壁面に取付板を取り付けてください。LPガス警報器に接続ケーブルを配線し、取付板の下を通して図のように接続コネクタを引き出してください。
※取付板は6箇所が配線用のノックアウト構造になっています。配置にあわせて、必要な部分を折ってください。

縦配置の場合、ガス検知の妨げにならないように**子機**は、LPガス警報器の右側に10mm程度離して設置することを推奨します。
※接続ケーブルの長さが足りない場合は、別途ご用意ください。

【縦配置の例】　　【横配置の例】



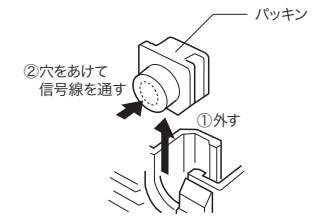
9.マイコンメータ、警報器に接続する

9-1.親機（CM-301）の接続

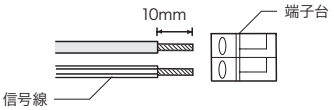
準備：ガスが遮断しても問題ないことを確認してから作業を進めてください。

■機器の信号線を端子台に接続する方法

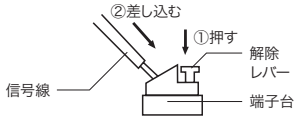
i パッキンをはずし、穴を開けてください。
信号線をパッキンに通してください。



ii 信号線の先端を図のように加工してください。端子台に差し込む部分は10mmほど被覆をはがして、芯線を出してください。



iii 解除レバーを押しながら信号線を端子台に差し込んでください。差し込んだら解除レバーを放してください。
信号線が抜けないことを確認してください。

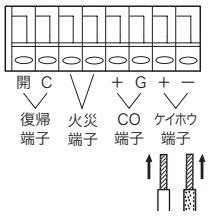


iv パッキンを元に戻してください。これで作業は終了です。

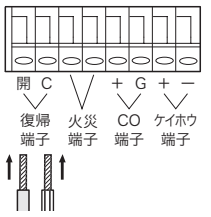
⚠注 意

接続は確実に行い、接触不良がないようにご注意願います。

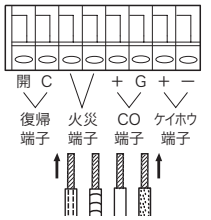
■親機とマイコンメータを接続する（基本配線）
ガス警報器でガスを遮断するための配線です。**親機**のケイホウ端子とマイコンメータのケイホウ端子とを接続してください。
※極性に注意してください。



■復帰端子と配線する
停止したガスを復旧させるための配線です。**親機**の復帰（開）端子とマイコンメータの開端子、**親機**の復帰（C）端子とマイコンメータC（コモン）端子とを接続してください。

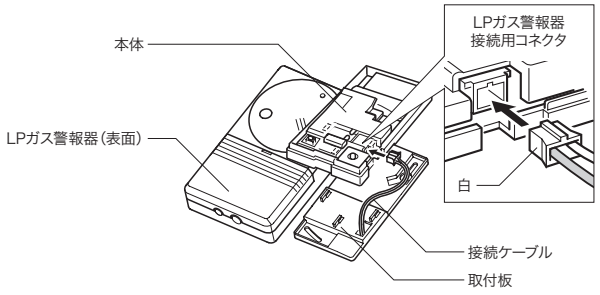


■外部機器と接続する場合（CO端子／火災端子の配線）
外部機器と接続する場合（CO端子／火災端子の配線）
「4.運用タイプとスイッチ設定」の設定にあわせて、CO端子／火災端子に外部機器の端子を接続してください。

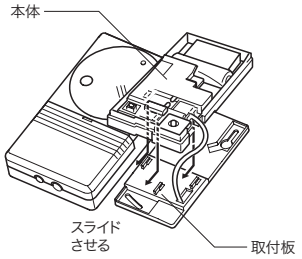


9-2.子機（CM-401）の接続［LPガス警報器と接続］

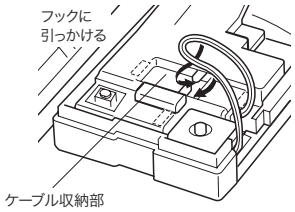
①接続ケーブルを**子機**に接続してください。



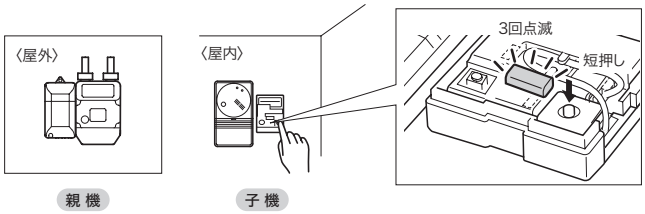
②**子機**を取付板に取り付けてください。



③接続ケーブルが長い場合は、接続ケーブルを収納してください。



④**子機**のボタンを短押しして、ランプが3回または2回点滅することを確認してください。



10.警報器の連動点検

連動点検では大音量の警報音が鳴りますので、事前にご近所の方や
住宅管理者へ周知徹底した上で行ってください。

点検方法は警報器の種類によって異なります。警報器の種類をご確認のうえ、点検作業をおこなってください。また、火災端子／ CO端子が出力する警報は、
[3]一括SW2 ／ [4]一括SW1の設定によります。（→「4.運用タイプとスイッチ設定」をご参照ください。）

点検スイッチ付きの警報器での連動点検

①警報器の取扱説明書に従い、警報器を点検動作状態にしてください。
②警報発生から、しばらくしてからマイコンメータが遮断します。ガスが停止していることを確認してください。
（火災端子・CO端子を外部機器に接続している場合は、外部機器とも連動することを確認してください。外部機器に接続していない場合は、テスターなどで出力を確認してください。）
③マイコンメータの取扱説明書の手順に従って、ガスを復帰させてください。
※子機を登録している場合は、子機からガスを復帰させることもできます。

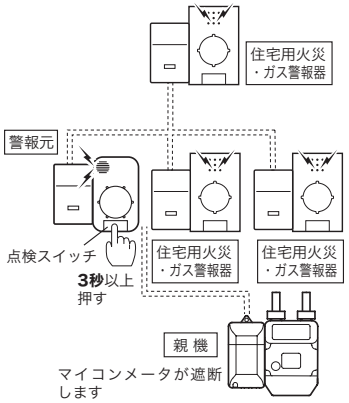
【代表例】
外部機器の機能がマイコンメータを遮断させる場合です。火災警報、CO警報、ガス警報でガスを遮断する設定・配線の必要があります。

■火災警報器での連動点検

①火災警報器の点検スイッチを３秒以上押してください。
火災警報音を発します。

②火災警報器の警報発生後にマイコンメータが遮断します。ガスが停止していることを確認してください。

③マイコンメータの取扱説明書の手順に従ってガスを復帰させてください。

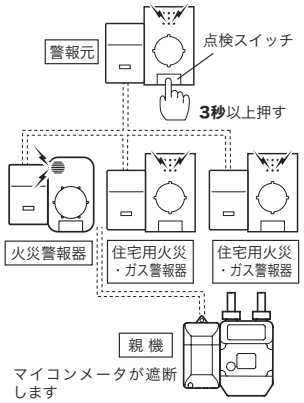


■住宅用火災・ガス警報器での連動点検

①住宅用火災・ガス警報器の電源投入後２５分以内に点検スイッチを３秒以上押してください。
火災警報→ガス警報→
CO警報の順で警報音を発します。

②住宅用火災・ガス警報器の警報発生後にマイコンメータが遮断します。ガスが停止していることを確認してください。
（マイコンメータは、CO警報信号、もしくは、ガス警報信号で遮断します。火災警報信号による出力を確認したい場合は、テスターなどで確認してください。）

③マイコンメータの取扱説明書の手順に従ってガスを復帰させてください。



点検スイッチのない警報器での連動点検

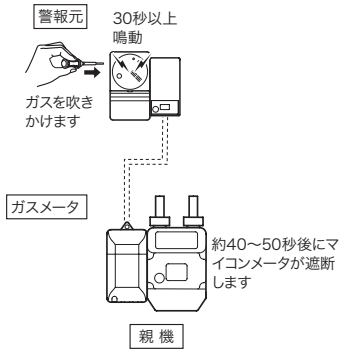
①警報器の点検操作をし、警報状態を継続させてください。
（詳しくは警報器の取扱説明書をご参照ください。）
②警報発生後、しばらくしてからマイコンメータが遮断します。ガスが停止していることを確認してください。
（火災端子・CO端子を外部機器に接続している場合は、外部機器と連動することも確認してください。外部機器に接続していない場合は、テスターなどで出力を確認してください。）
③マイコンメータの取扱説明書の手順に従って、ガスを復帰させてください。
※子機を登録している場合は、子機からガスを復帰させることもできます。

【代表例】LPガス警報器での連動点検

①LPガス警報器の点検操作をおこないます。30秒以上警報状態を維持してください。
（詳しくは接続するLPガス警報器の取扱説明書をご参照ください。）

②LPガス警報器が警報を発してから約40～50秒程度でマイコンメータが遮断します。ガスが停止していることを確認してください。

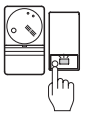
③マイコンメータの取扱説明書の手順にしたがってガスを復帰させてください。



マイコンメータの復帰作業

《復帰操作前の確認》
①LPガス警報器が監視状態に戻っていることを確認してください。
②燃焼器具の器具栓やガス栓がすべて閉まっていることを確認してください。

《子機でのガス復帰操作》
子機のガス復帰ボタンをランプが点灯するまで長押ししてください。



《マイコンメータでのガス復帰操作》
マイコンメータでのガス復帰操作については、マイコンメータの取扱説明書にしたがってください。

ＬＰガス警報器（5段音声）を使用している場合、遮断中は10分間隔で「ガスをメータで止めました」と鳴動します。
ガス復帰操作を受け付けると、以下の音声が鳴動します。
点検中・・・・「ピッピッ　安全を確認中です。しばらくお待ちください。」
復帰後・・・・「ピッピッ　ガスが使えます。」
点検の結果再遮断・・・・「ガスをメータで止めました。」
再遮断された場合は、燃焼器具の器具栓やガス栓がすべて閉まっていることを再確認し、マイコンメータの復帰作業をもう一度行ってください。
復帰できない場合は、販売店にご連絡してください。

⚠注 意

設置時に復帰動作が機能しない場合は、設定機でメーターの設定内容をご確認ください。またマグネットによる遮断では機能しない場合がございます。

11.お客様への説明について

無線ユニットの取り付け、点検が終わったら、お客様に以下の説明を行い、ご理解を得てください。

11-1.無線ユニットの説明

①連動動作および点検結果の説明。
②取扱説明書を必ず読んでいただくことのお願い。
③保証書および取扱説明書の保管のお願い。
④取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
1.機器故障・異常時の動作（表示方法確認）と処置の説明。
2.定期点検の方法と実施周知の説明。

11-2.お客様への周知事項

①保証期間：お取り付け後5年。
②保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
③無線ユニットの移設禁止。（移設依頼の連絡先）
④無線ユニットの分解禁止。
⑤引越時の処置。
⑥故障・異常時の連絡先。
⑦過度の操作禁止。

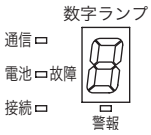
12.機器異常の確認と故障・修理について

12-1.機器異常の確認

●親機の機器異常確認

親機の「SW2」ボタンを短押しするとそれまでに検知している警報および機器異常情報を確認することが出来ます。

正常に作動中であれば、数字ランプが「-」を5秒間表示し終了します。
異常があれば、ランプが点灯し、「警報発生(履歴情報も含む)」→「通信異常」→「接続異常」→「電池切れ」の順で2秒間隔で表示します。異常内容は警報ランプ以外の各ランプの点灯で表し、同時に表示された登録番号で異常機器の特定が可能です。



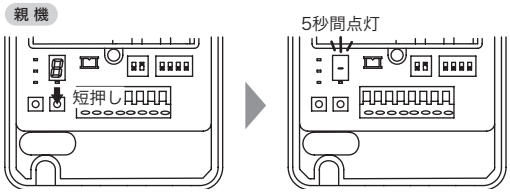
異常内容	点灯ランプ
警報発生	警報ランプ
通信異常	通信ランプ+電池(故障)ランプ
接続異常	電池(故障)ランプ+接続ランプ
電池切れ	電池(故障)ランプ

数字ランプ	異常発生機器
「1」～「9」	子機1番～9番
「0」～「5」	子機10番～15番
「0」	親機
「6」	他親機(CM-101または102)
「7」	他親機(CM-101または102)に登録されている器機※

※検知エラー機能対応機種のみです。

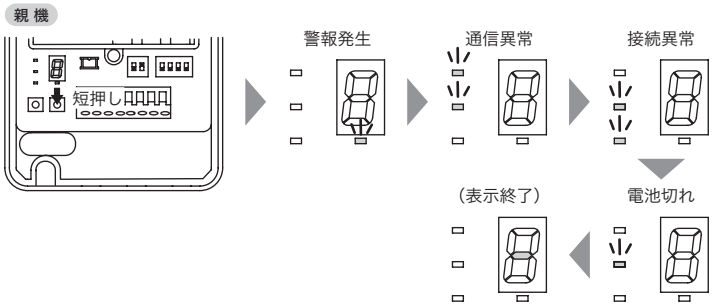
【異常がない場合】

数字ランプが「–」を5秒間、表示します。



【異常がある場合】

各異常内容は2秒表示後、自動的に切り替わります。
該当機器があれば登録番号を2秒間表示します。



検知している異常が「通信異常」と「電池切れ」のときは、「通信異常」→「電池切れ」の順で表示され、「警報発生」と「接続異常」の表示は、スキップされます。

●子機での機器異常確認

異常内容	ランプ表示パターン(2分ごとに繰り返す)				
	点滅	消灯	点滅	消灯	点滅
子機の電池切れ	1回	—	—	—	—
親機の電池切れ	3回	—	—	—	—
子機の接続異常	2回	1回	1回	1回	1回
親機との通信異常	2回	—	—	—	—

12-2.故障・修理について

故障かな?と思っても製品の設定や接続の問題で解決できる場合があります。
修理・アフターサービスを販売店にご依頼になる前に、次のことをご確認ください。

●警報器の連動点検をしても、マイコンメータが遮断しないとき

確認事項	参照
親機とマイコンメータのケイホウ端子または外部1端子は、正しく接続されていますか?	「9.マイコンメータ、警報器に接続する」
親機と警報元の無線ユニットは登録されていますか?	「7-1.他親機(CM-101またはCM-102)ー親機(CM-301)の登録」 「7-2.親機(CM-301)ー子機(CM-401)の再登録」
設置マイコンメータにあわせて、メータ切替スイッチは設定されていますか?	「4.運用タイプとスイッチ設定」
親機と警報元の無線ユニットで、通信異常は発生していませんか?	「12-1.機器異常の確認」

●子機でガス復帰操作をしても、ガスが復帰しないとき

確認事項	参照
警報器はすべて復旧していますか?	各警報器の取扱説明書をご参照ください。
親機とマイコンメータの復帰端子は正しく接続されていますか?	「9.マイコンメータ、警報器に接続する」
親機と**子機**は登録されていますか?	「7-2.親機(CM-301)ー子機(CM-401)の再登録」
親機と**子機**で、通信異常は発生していませんか?	「8.設置と点検」

●子機を親機に登録できないとき

確認事項	参照
1m以上離れた場所で、**親機**と**子機**の登録作業をしていませんか?	「7-2.親機(CM-301)ー子機(CM-401)の再登録」 「7-3.親機(CM-301)ー子機(CM-401)の登録(追加子機)」
子機を**親機**に既に15台登録していませんか?	
親機は子機登録モードに入っていますか?	
親機の運用タイプを、①または②に設定していませんか? **親機**の運用タイプは、③、④、⑤のいずれかに設定してください。	「4.運用タイプとスイッチ設定」

●親機を他親機(CM-101またはCM-102)に登録できないとき

確認事項	参照
1m以上離れた場所で、他親機(CM-101またはCM-102)と**親機**の登録作業をしていませんか?	「7-1.他親機(CM-101またはCM-102)ー親機(CM-301)の登録」
他親機(CM-101またはCM-102)は登録モードに入っていますか?	
他親機(CM-101またはCM-102)に既に**親機**が1台登録されていませんか?	
他親機(CM-102)から**親機**の登録解除を行ったことはありませんか?	「7-4.他親機(CM-101またはCM-102)ー親機(CM-301)の登録解除」
親機の運用タイプを、⑤に設定していませんか?**親機**の運用タイプは、①、②、③、④のいずれかに設定してください。	「4.運用タイプとスイッチ設定」

●親機と子機/他親機(CM-101またはCM-102)が通信異常のとき

確認事項	参照
親機と**子機**/他親機(CM-101またはCM-102)は登録されていますか?	「7-1.他親機(CM-101またはCM-102)ー親機(CM-301)の登録」 「7-2.親機(CM-301)ー子機(CM-401)の再登録」
親機と**子機**/他親機(CM-101またはCM-102)の設置場所は離れすぎていませんか?	「8.設置と点検」
親機と**子機**/他親機(CM-101またはCM-102)の間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁はありませんか?	「3-3.取付位置の確認」
親機と**子機**/他親機(CM-101またはCM-102)の近くに、強い電界・磁気を発生する機器や電波を利用した機器はありませんか?	
周囲に同じチャンネルを使用する無線器はありませんか?	「6.チャンネル設定」

●子機/他親機(CM-101またはCM-102)の接続異常のとき

確認事項	参照
警報器と**子機**/他親機(CM-101またはCM-102)の接続ケーブルは正しく接続されていますか?	「9.マイコンメータ、警報器に接続する」
警報器と**子機**/他親機(CM-101またはCM-102)の接続ケーブルは断線してませんか?	新しい接続ケーブルで接続してください。

●親機/子機/他親機(CM-101またはCM-102)が電池切れのとき

確認事項	参照
親機/**子機**/他親機(CM-101またはCM-102)の電池は古くなっていませんか?	新コスモス電機株式会社ホームページに掲載の対処法に従って新しい電池に交換してください。 http://www.new-cosmos.co.jp/

＊上記の処置を行っても動作に問題がある場合は、
新コスモス電機株式会社ホームページに掲載の対処法に従ってください。
(http://www.new-cosmos.co.jp/)
掲載の対処法でも問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。